

JICA プロジェクト研修生受け入れ報告

～インドネシア保健省より視察～

日時：2025年6月20日(金)9:30～12:00

研修生：インドネシア保健省職員(12名)

昨年に引き続き、JICA プロジェクト研修生の受け入れを行ないましたので報告いたします。

インドネシア国内において、感染症管理・対策グループ構想が検討されており、JICA プロジェクトの一環である「インドネシア感染症サーベイランス能力強化トレーニング」として、保健行政に携わる12名が日本国内の研修に招待され、6月8日より各地で研修を受けた後、6月20日に衛生検査所の検査現場を知る目的で当検査センターに来所されました。



当検査センターでの研修は講義と現場見学で、講義は検査センター概要と感染症検査説明を行ないました。特に新型コロナ PCR 検査については流行時にどのような運用を行い、地域医療に貢献してきたかを説明しました。現場見学では昨年5月より稼働している検体搬送ライン、細菌検査の同定で使用している質量分析器や新型コロナ PCR 検査のデモンストレーションを行い、非常に高い関心を示されていました。

最後に質疑応答を行い、予定時間を超えて活発な意見交換が行われ、検査の質問にとどまらず、衛生検査所としての役割まで幅広い質問をいただきました。

<研修を終えて>

3年にわたるインドネシアからの研修を受け入れてくださり、感謝しております。インドネシアでは保健省の職員でさえも、病院の検査室や民間の検査室への立ち入りを許されないことがよくあります。衛生的で感染対策が取られ、迅速な検査結果をだしてその情報を提供する。このように整った検査施設を丁寧な説明とともに実際の検査の様子を生で見せてくださったことは貴重な体験でした。大変参考になりました。インドネシアからの研修はいったん終了となりますが、ぜひ今後も海外研修員にこのような機会を与えてくださることを期待しています。ありがとうございました。(JICA 久保木 勇)



<広報委員> 石田 啓 / 吉田 英里子 / 水谷 亜紀 / 石田 有里

*ウェブサイトでもご覧いただけます。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>